

VR地震体験及びAR煙・消火体験を運用開始

横須賀市消防局

横須賀市消防局では、令和6年2月7日から、VR(人工現実感)地震体験及びAR(拡張現実)煙・消火体験の運用を開始しました。

VR地震体験は、既存の地震体験車の揺れと地震発生時の360度映像を組み合わせたもので、AR煙・消火体験は、実際の視野の映像にCGによる煙や炎を重ね合わせ、よりリアルな災害体験ができるもので、神奈川県板橋大学の板宮朋基教授との連携で整備したものです。

AR煙・消火体験のゴーグルは、各消防署所に合計50台を配置し、VR地震体験は、地震体験車とともに運用し、各町内での防災訓練や防災イベント等で活用します。



特別救助隊による水難救助訓練署長査閲を実施

新潟市消防局

新潟市西消防署では、令和6年2月7日、水難救助訓練署長査閲を実施しました。

深さ7.2mの潜水槽において、安全・確実・迅速な潜水活動を行い、これまで訓練してきた成果を発揮することができました。

当初は市営プールを借用して訓練を行う予定でしたが、震災の影響でプールが使用できなくなり、新潟市消防局訓練場内潜水槽での訓練に変更しました。

管轄する新潟市西区内では道路の隆起など震災の影響がまだ残っています。1日でも早い復興を願い、今後も訓練を継続していきます。



消防通信 望楼 ぼうろう

ピエリ守山で消防フェア2024を開催しました

湖南広域消防局

湖南広域消防局では、令和6年2月23日(金)、滋賀県守山市の大規模商業施設であるピエリ守山で、「消防フェア2024」を開催しました。当日はあいにくの雨でしたが、お集まりいただいた皆様に、地震体験や消防車両の乗車体験、消防音楽隊の演奏など様々なイベントを通して、より一層火災予防に気を付けていただくきっかけになりました。



『令和5年度実戦ポンプ操法大会』を実施しました

豊中市消防局

豊中市消防局は2月5日から3日間、第28回実戦ポンプ操法大会を実施しました。小隊長の指揮能力向上、ST車直近速消、火災救助、クアドラフォグノズルの機動性を活かした転線、屋内進入、小屋裏防ぎよ、また状況に応じた適切な流量レンジ切替えなど、実災害に即した想定としました。各隊は約2ヶ月間の事前訓練期間を経て、訓練成果をいかに発揮しました。今後も社会情勢の変化に合わせ、求められる技能向上のため、訓練に励みます。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】